

# 特殊詐欺

かつては「オレオレ詐欺」な

どと呼ばれていたこの手の詐欺は、手口の多様化、巧妙化、組織化が進み、もはや「オレオレ」では括れなくなつて「特殊詐欺」と呼ばれるようになりま

した。企業顔負けのマニュアル（手引書）や詐欺のシナリオを作成し、社会の動向を見ながら巧妙な役割分担で騙しにかけるという卑劣な犯罪です。近年は海外に拠点を設けるなど、警察など関係機関からの注意喚起、銀行や郵便局などの防止対策、新聞やテレビなどの報道や対策告知を尻目に猛威を振るつてい

ます。代表的な手口としては「オレオレ詐欺」

かつての「オレオレ詐欺」が巧妙化、複数の登場人物が家族や警察、弁護士などに成りすまし、金を騙し取る詐欺

「還付金詐欺」

医療費などの過払い金を還付す

ると称してATMに誘導、携帯電話で操作を指示し、お金を振り込ませる詐欺

「融資金詐欺」

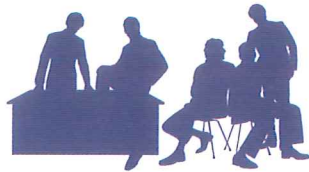
即日融資、金利ゼロでお金を貸すなどと称して保証金などの名目でお金を振り込ませ、融資はせずにお金だけを騙し取る詐欺「架空請求」

身に覚えがあるようで、実際には契約していない架空のサービスや商品の料金を請求し、金を騙し取る詐欺などが挙げられます。

さまざまな手段で注意が呼びかけられ、多くの人が詐欺の存在を知っているにもかかわらず、いまだに多くの被害が発生していることを考え、「自分は大丈夫」などといった根拠のない自信は捨て、自分も騙される可能性があると考えて、真剣に対策

を取ることをお勧めします。

## 特殊詐欺の対策



ここに  
ご注意

### ●自分だけは大丈夫という思い込みは捨てる

自分は騙されないと思っていると、騙されても気づきませんし、詐欺対策も真剣には考えません。年々巧妙になる詐欺集団の巧妙な手口に、過信や思い込みだけでは到底対抗できません。

### ●知らない番号からの電話には出ない

相手先や電話番号が表示される電話の場合、知らない番号からの電話には出ないようにしましょう。身に覚えのない請求書が届いた場合は、請求元の業者名、住所、電話などをインターネットで調べるか、まったく無視しましょう。

### ●留守番電話を活用する

留守番電話に設定し、電話に出ないという方法も有効です。家族や知人、友人などには前もって事情を説

明しておきましょう。大事な要件は録音されるため聞き漏らさずに済みますし、詐欺集団は声や電話の内容が録音されるのを嫌います。

### ●お金が絡む話は必ず自分で確認・相談する

還付や融資を含め、お金に絡む話があったら相手の伝えた番号ではなく、自分自身で調べて確認することが大事です。家族や知人、友人に相談する方法も有効。対応を急かす話には特に冷静な対応が必要です。

### ●こんなセリフは要注意

電話番号が変わった、会社のお金を紛失した、または使い込んだ、誰にも言わないで欲しい、すぐに金が必要、お金が還付される（年金や医療費など）、キャッシュカードを預かる、宅急便でお金を送って、といったセリフが登場したら詐欺を疑ってください。

### ●警察や金融機関職員を名乗る電話は

警察や金融機関の職員を名乗る電話がきたら、慌てずに氏名、所属、電話番号を聞き出し、実際に存在する警察や金融機関に連絡して必ず確認を取ることが大切です。